

平成24年 第8回

東京都教育委員会定例会会議録

日 時：平成24年 5月24日（木）午前10時03分

場 所：教育委員会室

平成24年5月24日

## 東京都教育委員会第8回定例会

### 〈議 題〉

#### 1 議 案

第33号議案 東京都公立学校長の任命について

#### 2 報 告 事 項

- (1) 平成24年度における土曜授業の実施状況について
- (2) 平成26年度全国高等学校総合体育大会東京都開催競技種目別大会等会場及び日程について
- (3) 平成23年度卒業式及び平成24年度入学式の実施状況について
- (4) 東京都公立学校教員等の懲戒処分について

委員 長	木 村 孟
委 員	内 館 牧 子
委 員	竹 花 豊
	(欠席)
委 員	瀬 古 利 彦
委 員	川 淵 三 郎
委 員	大 原 正 行

事務局 (説明員)	教育長 (再掲)	大 原 正 行
	次長	庄 司 貞 夫
	理事	高 野 敬 三
	総務部長	松 山 英 幸
	都立学校教育部長	直 原 裕
	地域教育支援部長	谷 島 明 彦
	指導部長	坂 本 和 良
	人事部長	岡 崎 義 隆
	福利厚生部長	前 田 哲
	教育政策担当部長	白 川 敦
	特別支援教育推進担当部長	廣 瀬 丈 久
	人事企画担当部長	加 藤 裕 之
(書 記)	総務部教育政策課長	八 田 和 嗣

## 開 会 ・ 点 呼 ・ 取 材 ・ 傍 聴

【委員長】 ただいまから平成24年第8回定例会を開会します。

竹花委員から欠席との届出をいただいています。

取材・傍聴関係です。報道関係は日本教育新聞社外4社、個人は合計3名からの取材・傍聴の申込みがございました。入室を許可してもよろしゅうございますか。——〈異議なし〉——では、許可します。入室をしていただいでください。

### 会 議 録 署 名 人

【委員長】 本日の会議録署名人は、内館委員にお願いします。

### 前々回の会議録

【委員長】 前々回第6回定例会会議録については、先日配布して御覧いただいたと存じますので、よろしければ承認いただきたいと存じますが、よろしゅうございますか。——〈異議なし〉——では、第6回定例会の会議録については、御承認いただきました。

前回4月26日開催の第7回定例会会議録が机上に配布されています。次回までに御覧いただき、次回の定例会で承認をいただきたいと存じます。よろしくをお願いします。

非公開の決定です。本日の教育委員会の議題のうち、第33号議案及び報告事項(4)については、人事等に関する案件ですので非公開としたいと存じますが、よろしゅうございますか。——〈異議なし〉——では、そのように取り扱います。

## 報 告

(1) 平成24年度における土曜授業の実施状況について

【委員長】 まず、報告事項（１）平成24年度における土曜授業の実施状況について、説明を指導部長、お願いします。

【指導部長】 報告資料（１）平成24年度における土曜授業の実施状況について、説明します。

これは平成24年度の土曜授業の計画について、4月5日現在の数字です。対象校数は、小学校1,304校、中学校621校です。学期中の土曜日を授業日とする公立小・中学校について、それぞれ0日、1から5日、6から10日と実施回数ごとに該当する学校数と割合を載せています。これについては、3年目になりますので、3年間の推移を見ていただければと思います。小学校・中学校それぞれグラフがありますが、平成22年度、年間6回以上実施している学校は、小学校で9.5パーセント、中学校で11.8パーセントでした。23年、24年と3年間で、24年度は小学校が43.3パーセント、中学校は47.0パーセントと、半分近くの学校が月1回程度の土曜授業を実施するようになってきたということです。割合にして、22年度に比べると約4倍強になってきました。

これらについて、24年度の状況をもう少し詳しく説明します。資料右が授業日数の変化の状況ですが、これは23年度と比べて24年度は増えたのか減ったのかがわかるように、縦横で23年度、24年度それぞれの実施日数のマトリックスの表にしています。この表の見方は、縦に御覧いただくと、24年度の実施状況で左から二つ目、1から5日のところは学期に1回程度ですけれども、全部で725校ありますが、この725校は去年どのくらいの日数を実施していたのかと言いますと、0日が17校、1から5日が690校、6から10日が18校と、昨年と今年を比較することができるような表にしています。ただし、学校数全体を見ますと、今年度24年度は1,304校。この表で見ますと1,303校です。これは昨年と今年を比較していますので、今年新設校になった学校は去年のデータがありませんので、この中には入っていません。

もう一度説明しますと、この表の中で、黒い枠で白抜きになっている数字が、昨年度に比べると日数が増えた学校です。網掛けになっているところは現状維持、白いところは昨年度より減少した学校数になります。小学校においては、昨年より日数が増えた学校、黒い枠の中の白抜きの数字を合計しますと264校、約20パーセント強の学

校が日数を増やしています。同様に、中学校についても、黒枠の中の白抜き文字を合わせますと156校、25.2パーセントということで、4分の1くらいの学校が増えているということで、着実に土曜日を有効に活用する学校が増えてきたということです。

また、減っている学校が小学校で64校、中学校で26校あるわけですが、これらについては、主に教育委員会で、それぞれの学校の中の実施日数についてはこれくらいの基準を作りましょうということで標準回数等を明らかにしたために、これまで独自に実施していた学校が、周りの学校に合わせてそろえたということです。また、それも1回、2回ということで、大幅に減というところはありません。

このような区市町村教育委員会の状況ですけれども、教育委員会として独自の基準を設定しているのが、22年度は24地区でしたが、今年度は35地区ということで、これも56.5パーセント、半分以上が標準回数等を示すようになりました。

土曜授業を実施するに当たっての主な課題ですけれども、これは当初から同じですが、学校週5日制ということで、それぞれ地域での活動を活性化するというものが元々ありましたので、現在実施されている行事との兼ね合い、また、土曜日に部活動をするに当たって、計画していたものが土曜日に授業を実施すると半日でもできなくなってしまうというようなところでの調整、この部分が課題として残っています。

土曜授業を実際に実施してみてもの効果を4点挙げています。特色ある教育活動を実施することができるようになる、授業時数が確保できる、それから授業参観者の増加、土曜日はできるだけ学校を開いて、保護者や地域の方等多くの方に見てもらおうような場にするということで実施していただいているわけですが、特に父親とか男性の参観者が土曜日だと増えてきたという報告もきています。

また、今後の取組ですが、各学校での土曜日を活用した取組については、本日報告したものについては、ホームページ等でも公表する予定です。また、実施校の成果と課題について、指導主事が各地区の教育委員会を回ったときに、また7月から8月にかけて、色々情報をいただきながら把握したいと思っています。把握した内容を10月にはまとめて、リーフレットという形で指導資料を作成、配布したいと思っています。そういったことを基にして、11月、12月に実施します教育課程の編成に係る連絡協議会でそれぞれの地区の指導主事等にも提示していきたいと考えています。

報告は以上です。

【委員長】 ありがとうございます。ただいまの説明に対して、何か御質問、御意見ございますか。

【川淵委員】 この表はとても分かりにくいですね。よく分かりません。平成23年度及び平成24年度共に設置されている学校、これは説明がうまくできていないのではないですか。皆さんはわかりますか。

【委員長】 分かりにくいですね。

【指導部長】 申しわけありません。23年度と24年度を比較してあります。

【川淵委員】 比較しているなら、23年度はこうで、24年度はこうですと言ったら一番単純な比較だけど、これはそうではないでしょう。資料を前もって送ってもらって何回も見たけれども、分かりません。書き出しが「平成23年度及び平成24年度共に設置されている学校」となっています。

【委員長】 まず、それを説明してください。

【指導部長】 23年度と24年度を比較して、学校数が増えたのか減ったのかを表したかったものですから、23年度で廃校になっている学校もありますし、統廃合でなくなっている学校もありますし、24年度に新たに開校した学校もありますので、23年度と24年度両方ともある学校だけを表の中に入れたということで、数が今年の調査数とは違っているということがあります。

【委員長】 例えば、「平成23年度及び平成24年度共に設置されている学校」というのは、学校が存在しているという意味ですね。

【指導部長】 そうです。両方とも存在している学校が、小学校で1,303校、中学校で618校ということです。

【委員長】 その中で、全然実施していないところが14校あるということですね。

【指導部長】 そうです。

【委員長】 学期に一度程度だから、1年に1から5日が725校あって、6から10日実施しているところが313校で、合計1,303校になるということですね。

【指導部長】 そうです。

【委員長】 次の表を説明してください。

【指導部長】 その下は、例えば0日が14校ありますけれども、この14校は去年はどうだったか見たときの内訳を縦に見ていただきたいのです。ですから、14校のうち、去年も0日だった学校が11校あります。それから、去年1から5日だった学校が3校、合わせた14校が今年0日の学校の数になるということです。725校のうち、去年は0日だった学校が17校、去年も1から5日だった学校が690校、去年から10日だった学校が18校ということで、一番上にあります14校、725校、313校、それぞれを23年度実施の内訳で見たのが、縦に見たらわかるような下の表ということで作りました。

【委員長】 中学校も同じですね。

【指導部長】 中学校も同じです。

【委員長】 川淵委員、それで分かりますか。

【川淵委員】 分かったような、分からないような気がします。これは見出しの書き方が悪いのではないですか。24年度に実施するというので、23年度は触れなくて良いのですね。23年度はこうですと言って、24年度はこう実施しますと言ったら分かりやすいけれども、見出しと一緒に書くから分かりにくいです。

【委員長】 まず、「平成23年度及び24年度共に設置されている学校」と書いたもので、これで混乱してしまうようです。これが何かという意味が分からないから、それと下の表とがどう関係あるのかということになります。

一つ質問ですが、土曜授業という場合は色々な形態があることは承知していますが、例えば地域活動というのは土曜授業に入るのですか。

【指導部長】 学校行事の場合は土曜授業とは言いません。例えば運動会とか、そういうものも含めての学校行事は今回の調査においてはカウントしないで、通常の授業を行うものだけをカウントしています。

【委員長】 通常という表現ですが、例えば、地域の有名な方に来ていただいて授業を実施するというものも土曜授業の中に入っているわけですね。そのように色々な形があり得るということですね。

【指導部長】 はい。先ほど申しあげました運動会だけとか、そういう学校行事になっているものは外しています。

【委員長】 下のアスタリスクのところの土曜日の授業時数が0の学校は、土曜日

に「運動会」や「文化祭」等の学校行事を実施するからできないということになりますが、実際には日曜日に公開で授業を実施しているところもあるということですね。

【指導部長】 はい。

【委員長】 実施が0になっているわけですね。

【指導部長】 はい。土曜日に実施しているかどうかだけで見えています。

【委員長】 もう少し細かいデータが欲しいですね。授業日数が0と言うと何も実施していないように聞こえるけれども、実際は色々なことを実施しているので、それも細かく調査すると良いと思います。

【指導部長】 はい。

【委員長】 御質問がありましたらどうぞ。

【内館委員】 運動会や文化祭等の学校行事を実施ということは、みんな実施しているということですね。本当の0は、これも実施していないところもあるのですか。

【指導部長】 本当に0というところはないです。みんな何らかの形で、地域の方や保護者の方に来てもらえるよう学校を開いています。

【委員長】 大事なのは、0と書かれてしまうと何も実施していないという印象を与えますが、実際は日曜日に大体実施しているし、私の知る限りほとんど何も実施していない学校はないと思います。今後もう少し細かくデータを出すとよろしいかと思えます。

よろしいですか。いずれにしても、土曜日の授業を含めて、アクティビティが徐々に活発になってきていることは非常に良いことだと思います。

それでは、本件につきましては、報告として承りました。

## (2) 平成26年度全国高等学校総合体育大会東京都開催競技種目別大会等会場及び日程について

【委員長】 次に、報告事項(2)平成26年度全国高等学校総合体育大会東京都開催競技種目別大会等会場及び日程について、説明を指導部長、よろしくお願ひします。

【指導部長】 平成26年度に実施される全国高等学校総合体育大会について、前回4月26日の教育委員会第7回定例会において、設立総会を開催すること、第1回実行委員会を開催すること等について報告をしました。5月17日に開催された東京都実行委員会において、東京都で開催する競技種目別大会等の会場と日程が決まりましたので、説明いたします。

資料の「記」書きの表にありますように、総合開会式は味の素スタジアムで、8月1日金曜日に開催することになりました。前回東京で開催したインターハイは、昭和50年に国立霞ヶ丘競技場で総合開会式を開催しました。39年ぶりに東京でインターハイが開催されるわけですけれども、平成26年度は、1964年の東京オリンピックから50年という節目の年に当たりますので、記念的な日程になるかと思えます。東京オリンピックのとき、国立霞ヶ丘競技場をスタートしたマラソンの折返点が味の素スタジアムのすぐ前にあります。前回と今回をつなぐという意味では、味の素スタジアムというのも結構レガシー的な部分があると思えます。

また、前年度に開催されます「スポーツ祭東京2013」も味の素スタジアムで開会式、閉会式を実施することになっていきますので、同じ会場を使うことによって、運営面で効率化を図れるのではないかと考えています。

次に、競技種目別の会場と日程です。体操は、前半に体操、後半に新体操ということで、国立代々木競技場第一体育館を会場とします。バレーボールは、男子を前半、女子を後半としまして、一度に7面のコートを使用するため、大きな体育館が必要なことから、東京体育館と墨田区総合体育館の2か所を会場として考えています。女子サッカーについては、東京オリンピックの時もサッカー会場となりました駒沢オリンピック公園総合運動場、相撲は両国国技館、東京武道館では、前半になぎなた、後半に弓道、また、テニスは有明テニスの森公園を会場として、競技日程にありますスケジュールで開催することが決まりました。

なお、本件については、東京が開催する競技種目だけでなく、千葉県、神奈川県及び山梨県でも分担して競技を行いますので、各県の競技会場及び日程が全部確定したところで、東京都が取りまとめて全国高等学校体育連盟に申請して、承認を求めていく予定です。

説明は以上です。

【委員長】 ありがとうございます。ただいまの説明に対しまして、何か御意見、御質問はございますか。

【瀬古委員】 女子サッカーは駒沢オリンピック競技場とありますが、一つの競技場の中で全部実施できるのですか。

【川淵委員】 人工芝のところもあるので、そこも使用するのではないのでしょうか。

【指導部長】 そのとおりです。

【瀬古委員】 1面だけではなくて、ほかのところも使うということですか。

【指導部長】 はい。

【瀬古委員】 わかりました。

【川淵委員】 本日、2020年オリンピックの正式立候補都市に東京が残ったのですが、開催都市は、来年の9月に決まるわけですね。これは絶対決まってほしいと思います。もし、決まれば、インターハイの6年後に東京オリンピックがあるわけで、東京都としては、それとの関連というか、そこを結び付けて、子供たちが東京オリンピックにつながるような雰囲気というか、色々そこでやれることの誇りとか、そういう心の準備というか、何かやろうということを実前にきちんと検討してもらったほうが良いと思います。

【指導部長】 「スポーツ祭東京2013」とインターハイ、それから、今行っている招致活動とのつながりなど、2020年の東京オリンピックに向けてつながるようなことをイメージしながら進めたいと思っています。

【川淵委員】 東京は盛り上がりますよね。

【委員長】 そうですね。

【瀬古委員】 どの都市が残ったのですか。

【川淵委員】 スペインのマドリードとトルコのインスタambulと日本の東京です。かなり有力になってきたのではないですか。

【委員長】 五つの都市でしたね。

【川淵委員】 五都市あって、アゼルバイジャンのバクーとカタールのドーハが落選しました。

【委員長】 よろしいですか。

それでは、本件につきましては、報告として承りました。

(3) 平成23年度卒業式及び平成24年度入学式の実施状況について

【委員長】 報告事項(3)平成23年度卒業式及び平成24年度入学式の実施状況について、説明を指導部長、よろしくお願いします。

【指導部長】 報告資料(3)平成23年度卒業式及び平成24年度入学式の実施状況について、説明します。

最初に、平成23年度卒業式の実施状況です。

1 「国旗掲揚の状況」ですが、実施指針に基づいて、全校で舞台壇上正面に国旗及び都旗等を掲揚しました。

2 「国歌斉唱の状況」ですが、全校でピアノ伴奏等により、国歌斉唱を実施しました。

3 「卒業証書授与の状況」ですが、全校で卒業証書を壇上等で授与しました。

4 「教職員の状況」ですが、国歌斉唱時の不起立は、都立高校では1校1名、特別支援学校では2校2名でした。なお、生徒に不起立を促すなどの不適切な指導はありませんでした。

次に、平成24年度入学式の実施状況です。

1 「国旗掲揚の状況」ですが、実施指針に基づき、全校で舞台壇上正面に国旗及び都旗等を掲揚しました。

2 の「国歌斉唱の状況」ですが、卒業式と同様、全校でピアノ伴奏等により国歌斉唱を実施しました。

3 「教職員の状況」ですが、国歌斉唱時への不起立は、特別支援学校1校で1名ありました。なお、生徒に不起立を促すなどの不適切な指導はありませんでした。

お手元の資料の2ページ以降に、平成23年度卒業式及び24年度入学式の実施状況の詳細をまとめてあります。

説明は以上です。

【委員長】 ありがとうございます。ただいまの説明に対して、何か御質問、御意見はございませんか。いかがでしょうか。

【内館委員】 例えば9ページを見ますとすぐわかりますが、この中で、式典会場内というのは、舞台を使わず、会場内に掲揚しているとあります。これは、舞台に乗せられないとか、狭いとか、舞台がないとか、何か事情があるのですか。

【指導部長】 定時制で卒業生の数が少なかったため、舞台がないホールを使ったためです。

【内館委員】 わかりました。

【委員長】 よろしいですか。

【瀬古委員】 卒業式と入学式で、特別支援学校の先生が不起立で2名と1名とありますけれども、これは同じ人でしょうか。全部違うのでしょうか。

【指導部長】 特別支援学校の1名は同じです。

【瀬古委員】 同じ人が2回不起立だったということですね。

【指導部長】 はい。

【委員長】 よろしいですか。

それでは、本件につきましては、報告として承りました。

## 参 考 日 程

### (1) 教育委員会定例会の開催

6月14日(木)午前10時

教育委員会室

【委員長】 今後の日程について教育政策課長、よろしく申し上げます。

【教育政策課長】 次回の定例会は、6月14日木曜日、午前10時から教育委員会室で開催します。

以上です。

【委員長】 日程、そのほか何かございませんか。よろしゅうございますか。

それでは、引き続き非公開の審議に入ります。

(午前10時30分)